

南陽図書館つうしん 2018夏号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目130-79 Tel.052-301-2116

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日を休館）

第3金曜日（祝日の場合は開館）年末年始（12/29-1/4）

特別整理期間【H30年度 6/11（月）～15（金）】

ホムペ： <https://www.library.city.nagoya.jp>



新しく入った本の紹介



『藤井聡太 名人をこす少年』 津江章二／著 日本文芸社

彗星のように登場し、将棋界の記録を次々と塗り替えている天才少年棋士藤井聡太新七段。本書では昨年のデビュー以来、不敗の29連勝とその少し後までを取り上げています。他にもトップ棋士から見た彼の強さについての対談も収録されていて、読めば彼をますます好きになって元気がもらえるのはもちろん、自分なりの将棋の楽しみ方が見つかるのでは？



かこさとし 加古里子『かわ』



さきごろ、日本の児童文化の宝ともいえるべき加古里子さんが亡くなりました。『からすのパンやさん』『どろぼうがっこう』『だるまちゃん』とてんぐちゃん』など、子どもに人気の絵本、紙芝居をたくさん創られた方です。

加古さんは科学者で、自然科学の入門書ともいえるべき絵本もあり、そのなかでもわたしは『かわ』がとても気に入っています。

子ども時代、住んでたところに流れていたのは堀川で、ちょうど高度成長前で、川に近づけば、ものすごい悪臭、水面には油が浮かび、汚いあわがプクプク浮上しては、はちけていました。垂直にきりたった岸とねっとりした水、木材が浮かびポンポン船が行きかう堀川がわたしの“かわ”でした。

成長して記憶にのこる最初の“かわ”は三河の豊川です。大きく蛇行したところの川原で泳いだのですが、帰り際に「川で泳いだね」なんて言われて、そうか“かわ”なんだと気がついたのです。樹木が茂るなか、ゆったり曲がって流れる豊川やそれはすばらしいものでした。“かわ”のイメージが少し豊かになりました。

そして、大人になり、加古里子さんの『かわ』に出会い、川をじっくり知ることになったのです。まったく、なんてこった、ですが。

高山から里山、畑、田んぼを流れ、郊外から街中、工場街、港を流れ海にそそいでいく“かわ”。一本の水の流れが、人間、動物、鳥、植物の生きる営みをささえているのだとわかります。絵のなかに、川で馬を洗う人をみつけた時には、なぜか顔がほころびました。

（子どもの頃に『かわ』に出会いたかった加古ファン）

『フェアトレードタウン “誰も置き去りにしない” 公正と共生のまちづくり』 渡辺龍也／編著 新評論

「フェアトレード」とは消費者がフェア（公正）な取引をすることで、弱い立場にいる発展途上国の生産者の人々に人間らしい生活を保障するとともに、自分の足元の生活を見直すことを言います。そして、わが名古屋市もその精神に基づきフェアトレードタウン運動を行っています。本書では様々な活動、表紙をかざっている、みなさまおなじみの南陽高校の生徒さんによる取り組みも紹介されていて、きっと新たな発見があることでしょう。

『100歳の生きじたく』 吉沢久子／著 さくら舎

“終活”や“片付け”などの生前整理が大ブームの昨今、100歳で“死にじたく”ではなく“生きじたく”？と、タイトルを見て思われた方はいませんか？本書は、タイトル通り、100歳の著者なりの生き方の知恵や工夫が満載です。なんでかいつも生きづらさを感じているわきゃ一方にもオススメです。

『Secret シニアビューティメイク どうしてそんなにキレイなの？と噂される』 えがお写真館／著 扶桑社

シニア向けのメイクの本は珍しいので、ご紹介します。本書はメイクの方法がオールカラー写真で、とても詳しくのっています。ぜひ参考にして、益々キレイになってください。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

南陽図書館からのお知らせ

特別整理のため休館します

6月11日（月）～15日（金）

特別整理の休館に伴い貸出期間が5月29日（火）から3週間に延長されます。貸出冊数の変更はありません。

図書館の不用図書リサイクル会

6月16日（土）午前10時～午後3時

当日午前9時から整理券を配布します。（整理券は受領書になっています。入場時間が明記されております。）30人、20分毎の総入れ替え制を予定しております。おひとり、図書と雑誌合わせて20冊までお持ち帰りいただけます。入場時間5分前に案内をいたします。

受領書への記入をお願いしております。お手数おかけいたしますが、ご協力よろしくお願いいたします。



おりがみ・きりがみ すいぞくかん

7月1日（日）～19日（木）の開館時間中

おりがみで魚など水の生きものを作成し、壁に飾ります。子どもから大人までどなたでも参加できます。おりがみとおり方の本は図書館でご用意します。

おりがみ初心者も大歓迎です。沢山の魚や水辺の生き物を折って、図書館に水族館を作りましょう♪

ぜひご参加
ください！



～いろいろな図書館がある中で～

この4月より、南陽図書館に異動してきました。

3月までは、西図書館という市内のわりと中心部にある図書館に勤務していました。名古屋市には図書館が21あるのですが、名古屋市の図書館でもそれぞれ色々な特色や特徴があるものだと実感しています。

たとえば西図書館は、地下鉄の駅から歩いて5分ほどのところにあります。駅からのアクセスは館によってさまざまで、港図書館のように地下鉄の駅から直結しているところもあれば、歩いて20分くらいかかるところもあります。南陽図書館は、駅からバスに乗って20分、そこから歩いて5分とかなりかかります。おかげで前より早起きになりました。

館の古さも色々で、西図書館は前身も含めれば90年の歴史があり、現在の建物になってからも25年になります。名古屋市の図書館で最も古いのは鶴舞中央図書館で、もうすぐ100年、現在の建物になってからは30年ちょっととなります。比べて南陽図書館は開館してからまもなく16年、一番新しい徳重図書館は10年ちょっとです。

サービスも、館によって独自のものを打ち出しています。西図書館や鶴舞中央図書館は、中高生向けにグループで学習できるスペースを設置しています。ナゴヤドームに近い東図書館は中日ドラゴンズ応援のコーナーを設置、瑞穂陸上競技場に近い瑞穂図書館は名古屋グランパス応援企画をしたりしています。

南陽図書館も、南陽プールや南陽高校、戸田川緑地など近隣の施設や学校と連携し、今年も色々な企画を行う予定です。

利用者のみなさまにとって楽しい場となるよう、そして「南陽図書館はいいね」と言ってもらえるよう、精いっぱい尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。（S）